

あゆみ後援会会員
339名
(目標1000名)

みんなであゆみ

あゆみ後援会通信
VOL. 34
2012年8月20日発行
〒737-0951
広島県広島市中央区1-7
あゆみ保育園内
Tel: 082-245110
Eメール: moto@ayumi.or.jp
HP: http://business4bba.or.jp/ayumi/index.html

あゆみの“なつ”



あゆみの夏の保育は、プール活動を中心に夏ならではのいろいろな体験をしました。プールは前の公園にビニールプールを出して行いますが、幼児や学童は毎日のように市営二河プールへ通い、顔付けやウルトラマン、息継ぎ、泳ぎができるようになりました。また、多くの保護者の協力のおかげで、1才児クラスは4回、2歳児クラスも8回、二河プールに行くことができました。

保育園へお泊り保育 7月13・14日 ぞうぐみ(4才児クラス)

お父さん・お母さんを離れて、クラスの友達や先生たちと保育園へお泊りしました。グループの友達と力を合わせてカレーやサラダづくり、勇気をだしてオオカミと竹トンボ対決をし素敵なプレゼントをもらうことができました。

お泊り以後、自信をつけた子どもが多く、「ジブンタチでするんよ」という姿がよく見られるようになりました。



東広島憩いの森キャンプ 7月28・29日 くしらぐみ(5才児クラス)

6月の終わりから始まったキャンプにむけてのとりくみ。毎日カレンダーを確認しながら、寝袋の使い方、キャンプクッキングのリハーサル、キャンプファイヤーの出し物練習、ねずみばあさんとの弓矢対決の練習…とさまざまなとりくみ・準備をして当日を迎えました。憩いの森では、川遊びや登山もでき、自然を満喫しました。毎年お父さんたちの熱い協力があるからこそキャンプを行うことができます。キャンプ村の村長さん、テントの組立、火の神様、キャンプファイヤーの出し物、かまどの火の番etc. とてもよく協力して下さるので、子どもたちにのびのびといろんな体験をさせてあげることができ感謝しています。



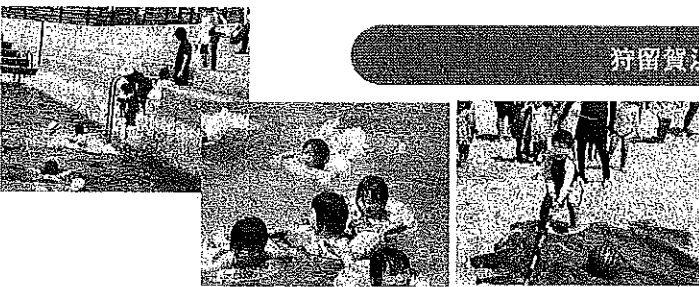
大久島キャンプ 8月4・5日 学童クラブ(1年~5年生)

夏休みに入っただけで、5年生のリーダーを中心に、クッキング・キャンプファイヤーの出し物の練習・キャンプのしおりづくりetc. など話し合いながらとりくみました。あゆみ学童クラブは、毎年継承されてきた「高学年がリーダーとなって低学年をリードし、自治集団をつくる」という目標を大切にしています。日常は学校から帰ってくるのが遅くなかなかみんなが揃って一つのことに向かうことは難しいのですが、夏休みは集団作りをしていく良い機会となっています。

学童のキャンプは保護者も参加でき、みんなで交流します。海水浴やキャンプファイヤー、クッキング、宝探しなど、思いっきり楽しんでできました。



狩留賀浜海水浴 8月7日 (きりん・そう・くしら・学童)



プールと違って波があったり、だんだん深くなっていたり、砂浜の砂の感触が苦手だったり、とはじめは躊躇する子どももいますが、ほとんどは大喜びで大はしゃぎ。引率の保護者に見ていただく子どもの担当を決め、しっかり監督していただきます。家庭ではなかなかできない”すいか割り”もして盛り上がりしました。

川あそび 8月29日 (きりん・そう・くしら・学童)

熊野町の川(大人の足の付け根くらいまでの水深あり)へ弁当を持って、引率の保護者の車に分乗して要ってきました。海とまた違い、波が無いせいか怖がる子どもも少なく、泳いだり、小さい魚やカエルを捕ったり、川ならではの楽しさを体験してきました。



全国保問研に提案して！

あゆみ保育士 芦田早苗

全国レベルの集會に、提案を出したのは久々。しかも、提案の内容は「平和」と、広島ならではの部会でした。地域により、平和を乳幼児・学童にどう伝えていくかの違いがあるようでしたが、どこの保育士さん達も、子ども達に平和を伝えていきたいと、取り組みを工夫されていました。「乳幼児に平和教育」というと、難しそうに感じますが、まずは、自分が愛され大事にされていると感じられる生活があること、自分が大事にされるから人も大事にできるようになるんだ！ということが、乳幼児にとっての平和教育の出発なんだ、あゆみが日々大切にしている事こそが、平和教育なんだと確信して帰れる会でした。保育園のみなさんに支えられ、提案できた事を感謝しています。

●全国保問研が広島開催ということで、あゆみ保育園も司会や会場係りなどの役割分担を担い、芦田保育士が平和分科会で「ぞうれっしやは走り続ける」と題して実践報告を行いました。また、名札に同封されていた被爆アオギリの種を植えると4つちやんと芽がでて、今植木鉢の中で青々と大きな葉が出ています。

初めて参加して

おひさま保育士 部谷岡真美

8月11・12日に全国障害者問題研究会全国大会が広島で開催されました。「つなげようみんなのねがい」というテーマで、全国各地からたくさんの方が参加されました。1日目の佐藤光雄先生の記念講演、オープニングの100人太鼓や合唱構成劇はとても感動的でした。2日目は、学習講座と51の分科会に分かれて参加しました。保護者の方も数名参加されました。私は乳幼児期の「多動な子・集団参加が困難な子」の分科会に参加しました。参加者が日頃の保育・療育で感じていること、悩んでいることを話し、意見を出し合いました。集団生活の中で一人ひとりに関わる時間の大切さを感じていても、なかなか関わるゆとりがない現実に参加した保育士の多くが悩んでいました。参加者の話を聞き、あゆみ保育園の取り組みや少人数でしっかり関わる保育の大切さ、おひさまと連携することにより深い個々の関わりができる良さを改めて感じることができました。

● あゆみ れんらくちょう.....

「怖いけど、がんばったよ！！」友だちと頑張るきりんぐみ

プール遊びは、子どもたちにとって「自信」に繋がるとも大切な活動、「夏のプールで子どもは変わる」といっても過言ではないくらいです！とは言え...水が怖い子も勿論います。今年のきりんぐみさん、元気いっぱい！水遊びも楽しんでいましたが、いざ二河プールに行ってみると、水のかけっこですでに皆、下を向いていました！浮輪である、(※)顔の子ども達、浮輪がなくなると、水しぶき、不安定な感覚に、上がりたがる子も出てきました。しかしそこは、やっぱり「唯我独尊」の3歳児さん。大きいクラスの見本を見せてもらおうと、「やるやる！」。引率の父さん母さんたちが、足を広げて、水中トンネルくぐり、一人が挑戦する、私も！と、挑戦する子どもたちにビックリ！さらにビックリは、かるが浜の海水浴。毎年恒例の岸壁から飛び込み、「今年は年少クラスだから、しなくていいわ〜」と、のんきに構えていると、年長児たちに混ざって順番を待つ、きりん組数名...「うっ！うっそ〜」と、焦りまくりの育士です！結局年長児より、少し低いところでの挑戦、クラスのはとんどの子が、飛び込みにやってきました！この自信こそ「3歳児ならでは！」。プールでも、泳げる(?)に近くなった子が数名います。怖かった子達も、1回は潜る経験をみんなの前で頑張りました。「頑張った」と、言いきっている3歳児です(笑)さて、「この自信が秋の運動会でどう花開くか！」どうぞ、お楽しみに！！



クラム紹介 きりんぐみ 3歳児クラス

● 新人保育士紹介

はらおか まなみ
原岡 愛美



● 毎日が刺激的で充実した夏でした...

夏休みの間、あゆみ学童クラブの補助をさせていただきました原岡愛美です。初日から「まなみ先生あそぼうやあ！！」ととっても元気なみんなが笑顔でむかえてくれ、不安な気持ちが安心に変わりました。それから毎日「まなみ先生おはようー！」と元気なみんなでした。キャンプに行ったり、海や山へ行き、県中の公園であそび、時にはケンカがあり、刺激的でとても充実した毎日でした。あゆみっ子と一緒に過ごしたのは、たったの1ヶ月ですが心も体も成長させてもらいました。9月からは、あゆみ共同保育園の保育士として働くことになりました。小学生よりもっとも小さい乳児さんとの生活を楽しみに頑張っていきたいと思えます。よろし

おしらせ
みはさん、せひおいでくほさい
うんどうかい
10月14日(日)
9時〜11時30分
ところ あゆみ前の公園
未就園児のお母さまのしごとクラブ
卒園児の総括8番
● あゆみまつり
11月11日(日)
10時〜15時
ところ あゆみ&前の公園
テーマ「しなやかな身体と心を育む」
*バザー用品を集めますので、
「協力おねがいします。」

あゆみOBリーター エッセイ VOL.9
離れてまたわかる、あゆみの良さ
下向井菜穂子
あゆみには上の息子、航太と下の娘、杏菜がそれぞれ4年半、3年お世話になりました。思い出は数限りありません。出産前後の不安定な時期、自我が芽生え始め、揺れ動く難しい時期、ずっと親子共に支えてもらいました。経験豊富な先生方との連絡帳での相談、学習会は本当に勉強になり、不安な気持ちも安心に変わったり。また一緒に子育てできた仲間、私の宝物です。
家族で沖縄へ移住するため、卒園を目の前にして後ろ髪を引かれながら退園しましたが、新しい幼稚園でもすぐにお友達ができ慣れました。そのキツカケはコマとけん玉でした。
新しいクラスメートの前で自己紹介した後、コマやけん玉遊びをしたら上手に出来、皆から一目置かれて仲良くなったそうです。クラスの担任の先生からは「今までの遊びの経験が豊かだったんでしょね。」とおっしゃっていただきました。
その時にまた改めて、「あゆみで良かったなあ。有難いなあ。」と思った次第です。子どもは遊びの中で学び、成長するんだなあ、とも痛感しました。すぐには結果がでませんが、無駄なことは何もない、とも。つい私は成果や結果を期待し過ぎてしまうので、自戒を込めて：
(苦笑)
またあゆみで教わった言葉で、今も気を付けているのは、「目はかけて、手はかけない」というのがあります。手も出そうになりますが、それ以上に口が出てしまします。今では「うっさいなあ。わかってるよ。」と返される今日この頃です。
相変わらず野球にしか興味のない息子と、奔放でマイペースな娘ですが、「みんな違って素晴らしい。この子がこの子らしく生き生き育ちますように」と願っています。大雑把でおっちょこちょいな自分の性格はこれからは直らないでしょうから、子どもに対しても短所ではなく、長所に焦点をあて、明るく楽しく、なんくるないさー(沖縄の言葉)で「なんとなかなるさー」という意味)子育てでいつてみます。

